

企教推だより

2022年度 第2号

わたしからはじまる部落問題 トップ・担当者合同研修会（12/7）

12月7日（水）に福知山市企業交流プラザにおいて、トップ・担当者合同研修会を開催しました。この研修会は長田野工業団地の人権啓発研修会と合同で実施したもので、72人の方に参加いただきました。

研修会の講師には、一般財団法人大阪府人権協会の業務執行理事兼事務局長の柴原浩嗣（しばはら こうじ）さんをお招きし、「わたしからはじまる部落問題」をテーマにクイズや話し合いも交えながらの講演をいただきました。

研修会では、相手を認めることが「尊厳」につながり、反対に不当な理由により認めないことは「差別」や人権侵害となること、そして今なお身元調査や戸籍不正取得などの差別事件が起きていること、さらにネット上での部落差別の現状など、厳しい差別実態の説明がありました。



そして差別をなくしていくために多様性の尊重、教育啓発の推進、差別をなくす仕組みや制度づくり、交流と協働の取組など人権尊重と平等の社会づくりのため、まず「わたし」ができることは何かを参加者で話し合いました。

さらに企業の社会的責任と人権についても分かりやすく説明いただき、とても有意義な研修となりました。

【参加者の声（抜粋）】

- ・とても分かりやすい講演の進め方で理解を深めることができ、良かったと思う。
- ・法改正の内容、時事を含め大変参考になりました。
- ・自分にできることを考え行動に移していきたい。

気持ちを交わすコミュニケーション 新入社員研修会（10/13）

10月13日（木）に実施した新入社員研修会では、夢こらぼ主宰の松尾弥生（まつおやよい）さんにお越しいただき、「人権を大切にしたコミュニケーション」というテーマで研修を行いました。

研修には9社14人の方や協議会理事の方も参加いただき、グループワークも交え、終始和やかな雰囲気の中で研修を受講いただきました。

【参加者アンケートから（一部紹介）】

- 印象に残った言葉・フレーズ
「気持ちと気持ちを交わす」「有要感」「笑顔・笑声・笑心」
「マイペース＝私の心地いい」を「ユアペース＝相手の心地いい」に
- 感想
 - ・実際の行動もありわかりやすい講演でした。
 - ・聴く力を高めようと思いました。
 - ・コミュニケーションの大切さに気付くことができました。
 - ・楽しい講演でした。
 - ・とても有意義な研修になりました。参考になることがたくさんあり自分でも実践していきたいです。

カレンダー（12月）

- 1日 いのちの日
- 2日 奴隷制度廃止国際デー
- 3日 国際障害者デー
- 10日 人権デー

職場のハラスメント撲滅月間
障害者週間（3～9日）
人権週間（4～10日）

ウトロ平和祈念館

第2ブロック視察研修会(11/14)

11月14日(月)、第2ブロックの視察研修会に参加させていただきました。3年ぶりとなった視察研修は、今年4月に新しく開館した宇治市の「ウトロ平和祈念館」での現地学習でした。

副館長の金秀煥(キムスファン)さんから、館内の展示について詳しく、分かりやすい説明を受けました。ウトロは戦争の時代に形成された、日本社会から「置き去りにされた」朝鮮人集住地域でした。戦時中の「京都飛行場建設」の労働力として過酷な労働に従事しながら、戦後工事が中断されると仕事を失い、過酷な差別と貧困の中で、長らく水道すら整備されない生活を余儀なくされてきました。



こうした歴史的経過の中で、一方的に立ち退きを迫られながら、住民の方たちは自らの生活と権利を守るため、立ち上がり声をあげたのです。

劣悪な生活状況の中であって、なお生きる力と希望を失わず、人権と平和を希求し闘ってこられた住民の方たちの生き様に触れ、胸を強く打たれました。

【場 所】 宇治市伊勢田町ウトロ 51-43

【開館日】 金～月曜日 10:00～16:00

【入館料】 一般 300円 小学生 100円 小学生未満無料

身元調査をなくしていくために

企教推では、例年、福知山市社会人権教育推進委員会と共同で、8月の人権強調月間に「身元調査お断り運動」の新聞広告を掲載しています。身元調査は結婚や就職のときに、本人の知らないところで調査会社などを通して、国籍や家柄、出身地、思想信条など個人に関わる情報を調べるプライバシー侵害行為であり、差別につながる許されない行為です。また戸籍等の不正取得の事件もあとを絶たない状況です。

身元調査をしない・させない・見逃さない「身元調査お断り運動」を実践しましょう。

「事前登録型本人通知制度」に登録しましょう

「事前登録型本人通知制度」は、住民票や戸籍の不正取得や特定の人物による権限の悪用を抑制し、市民のみなさんの人権とプライバシーを守る制度です。

あらかじめ登録しておくことで、第三者などの本人以外に戸籍や住民票の写しなどが交付されたときに、交付したことを登録者本人へ通知するものです。福知山市に住民登録や本籍のある人は、福知山市で登録することができます。福知山市以外の多くの市町村においても制度が導入されています。

やめましょう！身元調査
しない・させない・見逃さない

身元調査とは、個人に関する情報を、本人の知らないところで聞き合わせしたり、第三者を通して調査することです。このような行為は、プライバシーの侵害にあたるだけでなく、困りたくない・避けたいという意図から、人を差別・排除する差別行為です。結婚や就職の際、本人の年齢や能力・業種とは無関係な内容（国籍・社会的身分・家柄・職業・出身地・宗教・信条など）で評価することは、差別につながります。

福知山市では、社会人権教育推進委員会、企業人権教育推進協議会が中心となり、「身元調査お断り運動」の活動に取り組んでいます。

福知山市社会人権教育推進委員会
〒620-0035 宇治市伊勢田町51-43 伊勢田町51-43
TEL:074-721-2111 FAX:074-721-2112

福知山市企業人権教育推進協議会
〒620-0035 宇治市伊勢田町51-43 伊勢田町51-43
TEL:074-721-2111 FAX:074-721-2112

8/5 両丹日日新聞掲載広告

登録するとき

- 受付窓口
市民課、各支所、各児童館、各人権ふれあいセンター
- お持ちいただくもの
運転免許証など本人確認できるもの
※顔写真がないものは、本人確認できるものが2つ必要です。

登録した後（本人以外に住民票などの交付があったとき）

本人以外に住民票などを交付



交付したことを登録者本人に通知



※この制度は、交付されたことを通知するもので、交付自体を差し止めるものではありません。なお、交付請求者の名前、住所は通知しません。